

公益社団法人

# 京都府放射線技師会

THE KYOTO ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

令和2年度





## 目次

令和2年度 年報発刊に際して	1
令和2年度 事業計画	2
広告	6
一般会計 収支予算書	9
令和2年度 事業報告	12
年表	15
庶務報告	16
社会事業	17
研修・研究事業	20
編集事業	23
厚生事業	24
組織調査事業	25
情報事業	28
管理士事業	29
受賞者選考委員会	30
地区活動	31
令和2年度 監査報告	35
令和2年度 常設委員会・特別委員会名簿	36
令和2年度 地区委員名簿	37
令和2年度 会長・副会長・理事体制	38
同好会	39
広告	40
賛助会員一覧	50
個人情報保護について	51
編集後記	52



## 年報発刊に際して

令和2年は、新型コロナウイルス感染症患者の拡大から生活環境やライフワークも一変し新型コロナウイルス感染防止対策によるウイズコロナで社会情勢や経済形態の新しい時代が到来しました。

令和2年の国内情勢は、新型コロナウイルス感染患者拡大防止で政府から緊急事態宣言が2度発令されましたが、GoToトラベルやGoToイートにより観光客が増えたこともありコロナ感染患者は逆に増加傾向となったことから、3度目の緊急事態宣言で経済も悪化しています。

2020東京オリンピック・パラリンピックの開催が2021年に延期され、無観客での開催など規模が縮小されて経済効果の大きな減少も予測されています。

経済状況が良くならない中で7年8ヶ月務めた安倍長期政権が終わり、国民の期待を込めて第99代首相に菅義偉氏が就任しました。前途多難の中での発進でこの世の中を何とか変えていこうとされていますが、コロナ緊急事態宣言にかかる明確な基準や緩和の内容が国民に理解できず、解決に至らず令和2年は終幕してしまいました。

新型コロナ感染での明るい話題と申しますと新型コロナワクチンの開発、接種があります。日本国内での開発が遅れているところですが米国企業の新型コロナワクチンの有効率が高く、変異株にも効果があるとして医療従事者から接種が始まります。新型コロナワクチンの接種による早期感染患者終息には、人口やシステム問題も抱えています。イスラエルのように短期間での接種が望まれますし、女性の有効率が少し低いところも気になります。

また、暗い話題のなかで藤井聡太七段が棋聖戦で優勝、最年少でタイトルを奪取し、また最年少八段にも昇格しています。新時代の若きヒーローは明るい話題として記憶に新しいところです。

さて、令和2年度の京都府放射線技師会としましては、1年を通してコロナ感染患者の拡大防止により研修会や府民公開講座の開催を残念ながら感染対策が十分できないこともあり、安全の確保を優先し中止といたしました。しかしながらようやく年度末にネットワーク環境を整備してWebでの開催が可能となり研修会を行いました。また、事業推進を円滑に運用するためにコロナ感染対策を行い、通常総会や理事会を開催しました。

今年度の事業はすべてではありませんが、何とか終えられましたことを報告し、会員諸氏に感謝申し上げます。

令和3年度も令和2年度の経験を活かし「信頼・感謝・そして未来へ」をテーマにコロナ感染、安全対策を十分行い、京都府民の安全・安心な医療の提供に努め、診療放射線技師の地位向上と被ばくの管理、並びに放射線技術と臨床放射線医学の習得を目指して事業に取り組んで参ります。

ここに、令和2年度公益社団法人京都府放射線技師会の機関紙「年報」が完成しましたので発刊させていただきます。

令和3年4月末日

公益社団法人京都府放射線技師会

会長 河本 勲 則

# 公益社団法人 京都府放射線技師会 令和2年度 事業計画

## 1. 総括

令和元年度の事業につきましては、会長就任4年目を定例の研修会や臨床セミナーと日本診療放射線技師会主催の業務拡大に伴う統一講習会を開催し、1年間活発な事業推進に努めました。令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会京都府開催は、実行委員、会員諸氏のご協力により盛会に終えることができましたことを心より深く感謝申し上げます。

また、学術大会において「元気に楽しく生きよう」をテーマに府民公開講座を開催し、多くの方に参加していただき、食べることの大切さを改めて認識できました。

今年度も引き続き日本診療放射線技師会主催の生涯セミナーと緊急時放射線検査や被ばく管理、被ばく相談についての講習会を積極的に開催いたします。新人教育や若手技師のための臨床基礎セミナーの開催も継続していきます。

関西広域連合の参加団体として合同研修会や訓練への参加、さらには原子力災害医療協力機関として原子力災害時の医療対応に協力します。京都府が行う原子力災害訓練や舞鶴市、福知山市、南丹市等の災害訓練にも積極的に参加して参ります。

医療放射線の安全性の啓蒙や放射線検査内容の把握と診療放射線技師業務内容の理解を求め、看護協会の卒後教育や看護専門学校の放射線検査や放射線治療の授業へ講師を派遣します。さらには、臨床検査技師会をはじめ医療従事者間の業務内容把握を目的として研修会や講習会へ講師を派遣します。

京都医療推進協議会事業へも参加をして協議会活動を通して、関連団体とも関係を深め京都府民の健康増進と安全安心な医療の提供に寄与します。

診療放射線技師への信頼とチーム医療における診療放射線技師の役割を理解していただくために中学生や高校生、大学生にも正しい放射線の知識について教育の場で学習できる機会を作ってください、講師の派遣も行います。

会員数の増加推進についても取り組んで参ります。新卒者の入会促進事業としてフレッシュ診療放射線技師の集いや若手技師の放射線技術や臨床知識の向上をテーマとした勉強会も企画し開催いたします。

平成27年より開催しています、業務拡大に伴う統一講習会への参加により、入会者は急増していますが、更なる新卒者や若手技師の入会促進を目指し、職能団体としての事業（技術講習会等）を展開し、視線を向けていただけるよう今年度も入会活動を積極的に行います。

診療放射線技師の専門性を生かした高度なチーム医療の推進と業務や求心力の向上を目的とした情報共有の場として、令和元年発足しました、京都府下病院、会員施設の代表者による技師長、副技師長会を開催いたします。

講習会や研修会の開催につきましては、できるだけ迅速にホームページ等で広報し、参加しやすくしたいと考えています。今年度も執行部が協力して、円滑な京都府放射線技師会事業推進に努めて参ります。

公益社団法人に適合した会計管理と組織を継続し、放射線の専門家が集う職能団体としての信用を確立します。

令和を迎え、診療放射線技師には診断、治療、安全対策、感染対策を熟知し、安全で安心な医療提供をできる体制を築くことが求められます、また我々の地位向上に将来を見据えた行動も考えています。会員の皆様の京都府放射線技師会への変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 2. 社会事業（広報・渉外・組織・調査）

- (1) 令和2年度も開催予定の「第47回くらしと健康展」へ主催者団体の一員として協力参加し放射線の専門家として、京都府民に放射線を利用した検査や治療に関する疑問や不安の相談、診療放射線技師業務や職能について啓発、広報します。

『放射線なんでも相談コーナー』では、医療被ばくだけでなく、福島原発事故の放射線拡散汚染を含め、新たに取り組む環境問題など、客観的知識を一般の人々に啓蒙したいと考えます。さらに、府民の皆様に広く診療放射線技師業務を理解していただくため、放射線管理士委員会と共に連携し、相談・問合せの対応や啓蒙活動を行い、情報委員会では、ホームページ上に最新情報を逐次掲載し、会員だけでなく一般の人々にも社会性や公益性をご案内し、広く情報公開いたします。他団体との連携も強化し、さまざまな機会を通して講演活動を積極的に行います。

- (2) 関連団体事業にも積極的に協力し、原子力災害医療協力機関の一員として、行政（京都府）が開催します放射線（原子力関係）被ばくに関する原子力災害訓練、講習会などに診療放射線技師の派遣を行います。また、無資格者による放射線技師業務の防止については、管理者が法定独占業務を確定する診療放射線技師法を遵守されるように、関係機関（京都府・京都市・京都府医師会・京都府歯科医師会・京都私立病院協会）に要望書を提出し、コンプライアンス重視の社会情勢の中で、京都府民が安心して放射線診療を受けられる環境整備に協力を求めます。
- (3) 「第55回京都病院学会」については、今年度も実行委員、座長を派遣し協力します。会員が放射線技術の向上と医療安全や感染管理への研究発表が出来る場として活用することにより、他団体との重要な情報交流の場と考えています。
- (4) 組織調査活動については、各会員施設及び技師学校へ新卒者の京都府下への就職先調査をもとに、厚生委員会と協力してフレッシュ診療放射線技師の集いを開催します。研修会やイベント等で技師会への入会を推進し、会員間の求心力の向上を図ります。各地区の活性化に向けて全地区委員会および学遊会を開催し、会員の意見交換と親睦を行い技師会の事業推進への協力を促します。さらに、会員への調査事業を活発にするとともに、各地区委員会へ三役、組織調査理事が参加して問題点を洗い出し、周知して活性化を図ります。各地区の班編成の状況を調査し、再編成を含めて地区活動を活発に行えるようにします。そして、若い会員の意見を収集し、導入を積極的に行い事業への反映に努めます。調査に関しては、会員の考えや要望を取り入れ多くの会員参加型の事業を推進していきます。
- (5) 技師長、副技師長会の開催については、会員施設の技師長、副技師長に参席いただき医療や業務情報の共有と放射線技師の専門性を生かしたチーム医療の推進についての検討会や医療法改正等のリアルタイムな情報提供の研修会を企画いたします。
- (6) ベトナム海外事業については、近畿地域診療放射線技師会に指導、協力をいただきながら

積極的に活動ができるようにと考えています。

### 3. 研修事業（学術・放射線管理）

学術活動について、京都府放射線技師会の理念であります診療放射線技師の役割の充実と資質の向上を目指し、会員が望む生涯学習教育および会員相互の学術、知識、意識向上の情報交換のできる研修会、さらには府民に求められる健康維持に関する講演会を基本に各関連団体の協力を得ながら行います。定例の研修会では、新入会員向けの基本技術や専門的な内容から、一般的な医療情報と健康長寿や健康維持の話題も取り入れた、府民公開講座も開催します。また、チーム医療の一員として、医療従事者に求められる医療安全、感染対策の習得や法改正に伴う単位履修ができる研修会も開催いたします。業務拡大に伴う統一講習会につきましては、令和元年度で地方開催が終了となり、京都府会員の受講者は450名を超えました、令和2年度も地方開催として大阪府診療放射線技師会が開催されますので講師派遣に協力いたします。

#### (1) 京都市内会場

特に開催月は決めず、土曜日を基本に年6回程度とする。但し、時間的余裕（3時間）のある研修会や夜間、日曜日、祝日開催も行う

#### (2) 両丹地区会場

開催期は限定せず、研修会を年3回程度行う

#### (3) 日本診療放射線技師会主催の基礎技術講習および医療基礎コース等の生涯教育を近畿各技師会の動向を見ながら開催する

#### (4) 府民公開講座を年1回、学術大会の一環として行う

#### (5) その他

医療従事者として必要とされる知識やスキルを習得する研修会も積極的に開催する

\* 研修会は会員無料、非会員は有料とします。

管理士活動については、管理士会の事業推進を図るとともに、学術・広報・組織と連携し「くらしと健康展」への派遣や被ばく医療に関する講習会を開催します。また放射線に関する実態調査も行い集約、検討し、啓蒙活動に繋げます。さらに、関西広域連合合同や府下市町の原子力災害関係の講習会や訓練、緊急被ばくフォーラムなどに積極的に参加し、他府県の放射線管理士部会との交流も行います。京都医療科学大学の協力のもと、線量計の取り扱いや校正と被ばく管理に関する講習会を開催し、京都府下の各病院と正確な線量計管理や災害時の被ばく線量測定の協力体制を充実させます。患者被ばく線量の記録、管理や従事者対象の研修会の企画も考えています。

### 4. 情報事業（編集・情報）

編集活動については、「京放技ニュース」は基本毎月1日に発行します。「京放技ニュース」は会員に最新情報を提供・会員相互の情報交換のツールでありますので、会員からの意見や要望と経験談も投稿していただきたい。また、各委員会と連携を取り合い、読みやすい紙面構成と事業の長期計画の掲載をして、各会員が予定を立てやすいように構成します。年度末に発行します「京都府放射線技師会雑誌」については、会員のみならず、府民をはじめ誰が読んでも興味が持てる内容とし、さらには、書面のデジタル化やSNSの活用も検討し、当会ホームページへ一部内容を掲載していきます。



情報活動（主にホームページの更新）については、京放技、日放技関係の活動内容をインターネットを通じて広報し、会員への迅速な情報提供に心がけ、会員相互の交流や技術、知識の向上を目的とし、会員からの投稿記事の掲載をして閲覧しやすくし、各種団体とのリンクや研究会、勉強会のご案内を行います。京都府民に対しては、公益社団法人としての役割を十分に果たせるようホームページに府民向けの資料を掲載するとともに、府民の健康寿命をのばす活動の一助にして頂けるよう企画します。

また、公開講座をはじめ各種の放射線に関連するイベントのご案内を行い、組織調査、広報渉外、放射線管理士ならびに放射線機器管理士と共に、様々な情報提供を行い、府民の皆様に向けた医療被ばくや医療機器コーナーを充実させます。放射線に関する質問や相談についても活用して頂けるように、正確かつ迅速にお答えできる環境を整え、診療放射線技師業務を少しでもご理解していただくために、各委員会と連携し活動します。

## 5. 厚生事業

厚生事業については、会員相互の親睦を図るための重要な事業であり、主に懇親を深める事業を企画します。また、フレッシュ診療放射線技師の集い、新春の集いは例年通り開催します。

## 6. その他

### (1) 表彰関係

昨年度の実績を踏まえて、個人（会員）・団体に対する表彰の推薦を積極的に行います。

また日本診療放射線技師会勤続50年、30年表彰者の推薦も例年通り行います。

### (2) 公益法人立入検査

3年に一度の公益法人立入検査が行われます。公益法人規則の見直しや前回の指摘事項を踏まえて、必要な資料を作成し、立入検査の準備を慎重に行います。

Canon

# 高精細画像×AI

医用画像の分野で、AI技術が進化を遂げる「鍵」は、リソースとなる画像の量と質。  
従来にない高分解能と短時間撮像を可能とした、キヤノンのCT・MRIの技術が、  
いま、新たに開発したAI技術と融合。さらなる画質向上を実現しました。

高精細画像とAI技術の融合により、医療現場の未来を拓く。  
私たち、キヤノンの使命です。



キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

*Made For life*

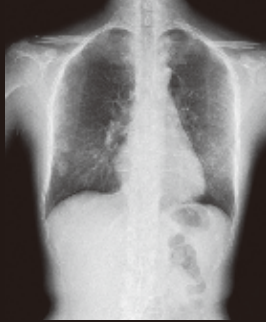


KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas



オリジナル動画画像



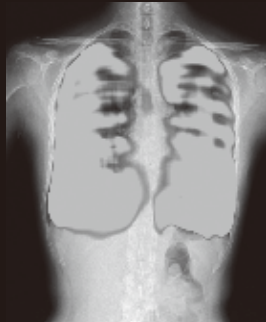
BS-MODE  
胸部骨減弱処理



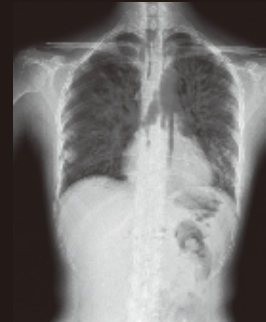
FE-MODE  
周波数強調処理



DM-MODE  
特定成分追跡処理



PL-MODE  
基準フレーム比計算処理



PH-MODE  
相互相関計算処理

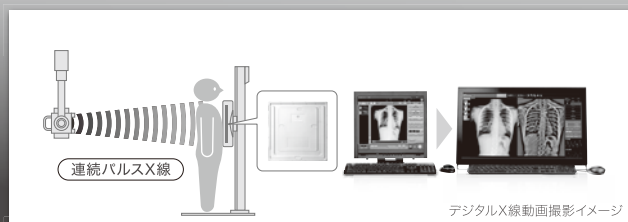


[二次元コードから動画画像をご覧頂けます]

単純X線撮影は、動画撮影の領域へ

X線動画解析ワークステーション

# KINOSIS



デジタルX線動画撮影システムは、X線動画解析ワークステーション「KINOSIS(キノシス)」、可搬型DR「AeroDR fine」、及び一般X線撮影装置\*1で構成され、パルスX線を連続照射し、コマ撮りした画像を連続表示することで、動画を作る、全く新しいシステムです。

\*1 一般X線撮影装置としては、(株)島津製作所「診断用X線装置 RADspeed Pro」を採用しています。★「X線動画解析ワークステーション KINOSIS」、及び「KINOSIS」は、「画像診断ワークステーション コニカミノルタ DI-X1」(製造販売承認番号:230ABBZX00092000)の呼称です。★「AeroDR fine」は、「デジタルラジオグラフィー SKR 3000」(製造販売承認番号:228ABBZX00115000)の呼称です。★記載の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。  
製造販売元: コニカミノルタ株式会社 販売元: コニカミノルタジャパン株式会社 105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 TEL (03)6324-1080(代) <http://www.konicaminolta.jp/healthcare>

## スループットに差がでる、EDGEのトモシンセシス



1回の断層撮影で任意裁断高さの断層画像が得られるトモシンセシス。  
島津がX線テレビシステムで豊富な実績を持つこのアプリケーションを一般撮影システムでも可能にしたのがRADspeed Pro EDGE packageです。  
一般撮影システムとして唯一、他の検査との同時並行処理による画像再構成を実現。  
これまでにない優れたワークフローとスループットを達成しながらも、より精度の高い診断を支援します。



## RADspeed Pro EDGE package

診断用X線装置

製造販売認証番号：221ABBZX00210000

# 令和2年度 収支予算書（収支ベース）

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科 目	予算額	前年度予算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入				
基本財産運用収入	100	100	0	
②受取会費収入	6,950,000	6,175,000	775,000	会員 625 名、新入会 5 名、新卒入会 20 名分 25,000 円 × 22
正会員会費収入	6,400,000	5,550,000	850,000	
賛助会員会費収入	550,000	625,000	△ 75,000	
③事業収入				
広告料収入	600,000	600,000	0	
④受取補助金収入				
日本放射線技師会補助金収入	0	1,500,000	△ 1,500,000	
地方公共団体補助金収入	90,000	90,000	0	
⑤受取負担金収入				
日本放射線技師会負担金収入	80,000	80,000	0	
⑥寄付金収入				
寄付金収入	10,000	10,000	0	
⑦雑収入	10,050	10,050	0	
受取利息	50	50	0	
雑収入	10,000	10,000	0	
⑧特定資産取崩収入	0	0	0	
記念事業積立金	0	0	0	
事業活動収入合計 (A)	7,740,150	8,465,150	△ 725,000	
2. 事業活動支出				
①事業費	4,883,000	6,103,000	△ 1,220,000	
印刷製本費	1,000,000	1,000,000	0	
通信運搬費	610,000	510,000	100,000	
通信運搬費	40,000	40,000	0	
連絡費	500,000	400,000	100,000	
IT関連費	50,000	50,000	0	
電話料	20,000	20,000	0	
賃借料				
会場費	600,000	400,000	200,000	
諸謝金				
講師費	200,000	200,000	0	
近畿地域学術大会準備費	0	0	0	
近畿地域学術大会費	0	1,600,000	△ 1,600,000	
福利厚生費	495,000	495,000	0	
調査研究費	100,000	100,000	0	
図書費	5,000	5,000	0	
福利厚生費	300,000	300,000	0	
渉外費 (慶弔)	90,000	90,000	0	
会議費	240,000	230,000	10,000	
学術編集	30,000	30,000	0	
学術編集	30,000	30,000	0	

広報渉外	5,000	5,000	0	
組織調査	30,000	30,000	0	
管理士会	20,000	20,000	0	
厚生	15,000	5,000	10,000	
情報	20,000	20,000	0	
特別	20,000	20,000	0	受賞者選考
地区（7地区）	70,000	70,000	0	
旅費交通費	345,000	340,000	5,000	
学術	50,000	50,000	0	
編集	30,000	30,000	0	
広報渉外	10,000	10,000	0	
組織調査	40,000	30,000	10,000	
管理士会	20,000	20,000	0	
厚生	15,000	20,000	△ 5,000	
情報	10,000	20,000	△ 10,000	
特別	30,000	30,000	0	受賞者選考
地区（7地区）	140,000	130,000	10,000	
広報渉外	150,000	100,000	50,000	
くらしと健康展	40,000	40,000	0	
原子力災害関連	100,000	50,000	50,000	
関連団体	10,000	10,000	0	
事業雑費	0	5,000	△ 5,000	
給料手当	600,000	600,000	0	
給料通勤手当費	600,000	600,000	0	
法定福利費	0	0	0	
租税公課費				
諸税	48,000	48,000	0	
受信費				
電話料	50,000	80,000	△ 30,000	
消耗品費	150,000	110,000	40,000	
消耗品	120,000	90,000	30,000	
印刷費	30,000	20,000	10,000	
光熱水料費	40,000	40,000	0	
消耗什器備品費	50,000	15,000	35,000	
リース費	47,000	47,000	0	
支払負担金	0	10,000	△ 10,000	
委託費				
事務所管理費2階	258,000	258,000	0	
保険料				
火災保険料	0	15,000	△ 15,000	
②管理費	2,567,040	2,147,040	420,000	
給料手当	600,000	600,000	0	
給料通勤手当費	600,000	600,000	0	
法定福利費	0	0	0	
会議費	550,000	375,000	175,000	
理事会費	130,000	130,000	0	
各委員会費	220,000	100,000	120,000	税理士契約
役員活動費	100,000	80,000	20,000	
総会開催費	50,000	15,000	35,000	
総会準備費	50,000	50,000	0	

旅費交通費	780,000	620,000	160,000	
理事会旅費	450,000	350,000	100,000	
各委員会旅費	180,000	150,000	30,000	
役員活動旅費	150,000	120,000	30,000	
租税公課費				
諸    税	35,000	35,000	0	
支払負担金	5,000	5,000	0	
受信費				
電話料	50,000	55,000	△ 5,000	
消耗品費	90,000	90,000	0	
消耗品費	50,000	50,000	0	
通信費	40,000	40,000	0	
光熱水料費	80,000	80,000	0	
消耗什器備品費	50,000	15,000	35,000	
リース費	47,000	47,000	0	
委託費				
事務所管理費1階	140,040	140,040	0	
保険料				
火災保険	10,000	10,000	0	
渉外費	80,000	60,000	20,000	
管理雑費	50,000	15,000	35,000	
③特定預金積立金	50,000	50,000	0	
特別事業	0	0	0	
備品購入	0	0	0	
事務所整備	50,000	50,000	0	
マンション改修	0	0	0	
④記念事業積立預金				
法人設立40周年記念事業	100,000	50,000	50,000	
事業活動支出合計 (B)	7,600,040	8,350,040	△ 750,000	
事業活動収支差額 (A) - (B)	140,110	115,110	25,000	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出				
固定資産取得費	0	0	0	
事務所購入費	0	0	0	
什器備品購入費	0	0	0	
投資活動支出合計 (C)	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部				
財務活動収入	0	0	0	
財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費 (D)	140,110	115,110	25,000	
当期収支差額 (A)-(B)-(C)-(D)	0	0	0	
前期繰越収支差額	911,136	911,136	0	
次期繰越収支差額	911,136	911,136	0	

(注) 借入金限度額 1,000,000 円  
債務負担額 10,000,000 円

# 令和2年度 事業報告

## 1【総括】

令和2年度の京都府放射線技師会（以下「京放技」）事業は、府民医療及び診療放射線学に関する技術の向上と発展を図り、公衆衛生の向上及び府民保健の維持発展に寄与する目的を達成するための事業を行いました。

令和2年2月に京都府で開催された令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会を終えてからは、新型コロナウイルス感染症患者の増大に伴い感染拡大の防止から外出の自粛や三密の回避が余儀なくされ、ビジネスはテレワークが導入されるようになりました。

社会の環境変化に伴い、当会でも参加者の感染対策や安全を担保することが困難と考え、研修会や委員会をWeb開催できる体制を整えました。令和3年3月まで主要都市に緊急事態宣言が発令され、京放技の活動にも制限がある中、会員向けにCT・MRIの新技术をテーマにした研修会や新しい部門の脳神経外科治療についてのWebセミナーを開催しました。

令和2年度は理事の改選年度であり、地区委員を対象とした全地区委員会（Web）を開催して、常設委員会の活動内容や当会継続事業についてご理解を頂きました。

会員増につきましては、日本診療放射線技師会（以下「日放技」）と共催の診療放射線技師フレッシャーズセミナー（Web）を開催し、日常業務に役立つ内容の講義を行い、入会を促進しました。令和2年度は20名が入会しました。

原子力災害関係では、福知山市で開催されました京都府原子力総合防災訓練に5名が参加し、感染症患者対応も含めたGMサーベイによる緊急時モニタリングについての訓練を行いました。

昨年より活動を再開しました技師長会は、令和3年4月に施行されます電離放射線障害防止規則の改正について講演会をWeb開催で行い、60名の参加者で講演後の質問も多数寄せられました。

令和2年度の京放技事業は、会員諸氏と賛助会員のご協力、ご支援により事業計画の全てではありませんが無事に終了しましたことを執行部一同心より感謝申し上げます。

令和3年度は、ウィズコロナで感染対策も十分に行いながら「信頼・感謝・そして未来へ」をテーマに新たな歴史の構築と伝統を守り、府民の健康増進と安全で安心な医療の提供に努め、放射線の専門家として被ばく低減や診断に役立つ臨床画像情報の提供を目的とした研修会や講習会を開催いたします。

事業内容の詳細は以下にご報告します。

## 2【社会事業】（広報・渉外・組織調査）

(1) 広報渉外事業は、京都府医師会館において「第47回くらしと健康展」を予定してましたがコロナ禍で中止となりました。今後の開催方法について検討し、令和3年度開催へ協力をいたします。

(2) 渉外関係では、京都府医療推進協議会シンポジウムや京都市健康づくり協会事業に参加して市内協力団体との交流を図っています。第55回京都病院学会（Web）は、6月14日から7月12日の日程で、メインテーマ「令和時代 病院の進むべき道へ～地域共生社会の実現に向けて～」が開催され、実行委員を派遣して運営の一端を担いまた放射線部門の発表は24演



題あり、多職種が集い、臨床での成果等を発表する学会として参加者総数は1,440名でした。

京都府民の安全、安心で信頼される良質の放射線検査の提供や医療被ばくの低減のため、無資格者による診療放射線業務の防止に関する要望書を京都府健康福祉部、京都市保健福祉局、京都府医師会などの医療機関に提出し、協力要請と医療放射線安全管理における被ばくの適正化や医療被ばくの低減についての理解を求めました。

- (3) 組織調査事業は、京都府下や近畿一円の大学、専門学校などの技師養成学校及び京放技会員施設に新卒者就職先調査を実施、同時に「フレッシュ診療放射線技師の集い」の案内（令和2年度はコロナ感染対策により中止）と入会勧誘資料を送付しました。

今年度は20名の入会者がありました。

10月18日には全地区委員会（Web）を開催、担当理事から事業内容や地区活動の説明を行い、委員の方へ当会事業推進への協力をお願いしました。またミニセミナー「今年度診療報酬改定について」と題してJIRA 鍵谷昭典氏にご講演していただきました。参加者は41名でした。

会員減少を予防する対策として、日放技や近畿各技師会と協力して入会勧誘パンフレットを技師養成学校や卒業生に配布するなど入会促進活動を行いました。また中学、高校生の病院見学者へは診療放射線技師紹介冊子を配布しました。

### 3【研修事業】（学術・放射線管理）

- (1) 学術研修事業は、定例研修会を3回、両丹地区では1回開催し、夏季研修会はコロナ感染対策から参加者の安全確保が困難と考え中止といたしました。

Webでの研修会が可能となり会員限定のCT・MRI Webセミナー（第579、580回研修会）を開催し、新技術やトピックスをメーカーより情報提供していただきました。ウィークデー夜間の開催でしたが2日間で118名の参加者でした。

3月17日に開催しました脳神経外科 Webセミナー（第581回研修会）では、脳機能や脳の放射線診断について京都大学医学部附属病院脳神経外科の菊池隆幸先生にご講演していただきました。こちらも夜間の開催でしたが56名の参加者がありました。

また、両丹地区でも Web 研修会を開催し、45名の参加者でした。

毎年開催しています府民公開講座は開催を目指して企画準備しておりましたが、直前に緊急事態宣言が出されたことで、会場型での開催が困難となり中止といたしました。

- (2) 管理士事業は、「第47回くらしと健康展」で放射線検査の被ばくに関する心配や不安などの相談や医療における放射線利用の安全性や有用性の啓蒙に会員の派遣を準備していましたが、今年度は開催が中止となりました。

令和2年9月6日には京都医療科学大学の協力をいただき、京都府下各施設の線量計の適正管理と測定法の修得を目的とした診断領域の線量計校正及びサーベイメータ取り扱い講習会を開催し、25名の参加者で23台の線量計校正を行いました。

原子力防災関係では、令和2年11月29日、福知山市で行われました京都府原子力総合防災訓練に京放技から5名の会員が参加しました。今後も積極的に原子力災害時の派遣要請に備え、会員に訓練への参加を呼びかけ体制強化を図ります。

#### 4【情報事業】（編集・情報）

(1) 編集事業は、「京放技ニュース」を毎月発行、会員に各研修会やセミナー等への参加を促進するため早期に開催情報を掲載するなど内容の充実を図りました。年度末には「京都府放射線技師会雑誌」を発刊し、府民の皆様にも気軽に読んでいただき、生活や医療情報として活用できる内容に心掛けています。

(2) 情報事業は、ホームページ上に京放技事業の開催案内を随時掲載し、他府県技師会や他団体のイベント情報もリンクできるようにして内容の充実心がけています。

府民の皆様には、公開講座の案内や講演内容も掲載しました。さらには医用放射線・医療被ばくについての資料や写真を取り入れ、わかりやすい内容にしています。

メールによる質問にも対応しました。特に日放技や京放技の講習会や研修会などの案内を迅速に提供できるように努めました。公益社団法人活動情報の開示から事業計画、予算書、役員名簿、定款、事業報告、決算書等を府民がいつでも閲覧できるようにしています。

#### 5【厚生事業】

厚生事業は、コロナ感染対策や緊急事態宣言が発令されましたことから会場型でのイベントや飲食が困難と判断し、「フレッシュ診療放射線技師の集い」、「学遊会」、「新春の集い」などの開催は残念ながら見送ることといたしました。

コロナ禍での会員間の親睦について委員会で検討しています。

#### 6【その他】

昨年より医療情報の共有や診療放射線技師の専門性を生かしたチーム医療の推進を目的として活動をしています技師長・副技師長会を令和3年3月5日にWeb開催し、令和3年4月に施行されます電離放射線障害防止規則の改正について「眼の水晶体被ばくに係る電離放射線障害防止規則改正」をテーマに長瀬ランダウア飯田泰二氏に講演していただきました。参加者は各病院担当者を含め60名で、事前の質問も多く有意義な内容でした。令和3年度も施設間の情報共有ができる企画を準備いたします。

## 令和2年度 年表

4月4日	令和元年度期末監査	京放技会議室
4月11日	令和2年度第1回理事会	京放技会議室
4月17日	3役会議	京放技事務所
4月26日	臨時理事会 総会議決の書面議決書運用の承認	メール会議
5月17日	緊急近畿地域診療放射線会長会議	Web会議
6月3日	総会資料、委任状、議決書、第2回理事会開催通知、 欠席委任状、議決書発送	京放技事務所
6月6日	日放技第81回定例総会 Web 視聴	京放技事務所
6月24日	近畿地域診療放射線技師会会長会議	Web会議
6月28日	第73回京放技通常総会、令和2年度第2回理事会	京放技会議室
7月11日	令和2年度第3回理事会	京放技会議室
8月1・8日	新任常務理事と今年度の事業推進について打ち合わせ	京放技事務所
9月5日	令和2年度第1回近畿地域診療放射線技師会会長・副会長会議、 教育委員会会議	Web会議
9月6日	線量計校正講習会	京都医療科学大学
9月12日	令和2年度第4回理事会	京放技会議室
10月10日	令和2年度第5回理事会	京放技事務所
10月18日	全地区委員会	Web開催（京放技事務所）
10月31日	令和2年度中間監査	京放技事務所
11月1日	日放技フレッシュャーズセミナー	Web開催（京放技事務所）
11月7日	令和2年度第6回理事会	京放技会議室
11月29日	京都府原子力総合防災訓練	福知山市
12月5日	令和2年度第7回理事会	京放技会議室
12月12日	日放技教育委員会幹事者会議	Web会議
12月22日	令和3年度予算委員会	京放技事務所
<b>令和3年</b>		
1月8日～31日	第36回日本診療放射線技師学術大会	Web開催
1月9日	令和2年度第8回理事会	京放技会議室
1月24日	日放技 人材育成委員会 業務改善推進委員会 近畿地域カンコレ	Web会議
1月25日	無資格者の診療放射線技師業務の防止についてのお願い（京都府、京都市） 電話にてお願い（関連団体要望書郵送）	
1月30日	令和2年度第1回地域委員会（全国地域連携協議会）	Web会議
2月10日	Web研修会（第579回研修会）	Web開催
2月13日	令和2年度第2回近畿地域診療放射線技師会会長、副会長会議 教育委員会	Web開催
2月24日	Web研修会（第580回研修会）	Web開催
3月5日	令和2年度第1回技師長会	Web開催
3月9日	令和2年度第9回理事会	京放技会議室

# 庶務報告

庶務委員長 後藤 正

## ■庶務委員会構成

榆 隆之	京都民医連中央病院
吉田 久仁彦	聖ヨゼフ医療福祉センター
四丸 真俊	国立病院機構宇多野病院
服部 恵里香	大阪医科大学附属病院
尾関 裕彦	京都市立病院

## ■令和2年度 京都府放射線技師会会員数

637名（名誉会員4名、正会員611名、賛助会員22社）

令和3年3月31日現在

### 令和2年度 異動状況

	元年度末 会員数 (人)	年間異動状況							2年度末 会員数 (人)
		増員会員		減員会員					
		入会	転入	退会	転出	昇格	除籍	物故	
名誉会員	5	0	0	0	0	0	0	1	4
正会員	610	21	7	20	4	0	3	0	611
賛助会員	21	1	0	0	0	0	0	0	22
計	636	22	7	20	4	0	3	1	637

### 令和2年度 月別異動状況

	会員異動数						総会員数 (人)
	増員会員			減員会員			
	入会	再入会	転入	退会	転出	物故	
4月			1		2	1	634
5月	3		1				638
6月	3	1			1		641
7月	8						649
8月							649
9月	3		1				653
10月	1			1	1		652
11月		1	1	1			653
12月		1					654
1月		1	1				656
2月			2				658
3月				18			637

\*理事会承認された時点で正式入会となるため、入会申込を行った日時とは異なります。

## ■令和2年度 会費納入者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度会費	68	118	64	78	74	6	118	6	5	22	15	5	579人
令和1年度会費	3	2	2	1	3	0	5	0	1	2	3	2	24人
令和2年度累計	68	186	250	328	402	408	526	532	537	559	574	579	

# 社会事業

広報・渉外委員長 三浦 健一

## ■活動総括

令和2年度の広報・渉外委員会活動は、『第55回京都病院学会』および『第47回くらしと健康展』について担当責任者の委員長として三浦が事業を遂行し、各事業の遂行のために若畑旬弥委員（京都医療センター）と杉原哲雄委員（京都きづ川病院）の2名に応援および協力をお願いしました。

委員長は、公益社団法人京都府放射線技師会の代表として、各事業の実行委員会または準備委員会に出席し、他の職能団体や関連団体との交流を深めて意見を交わし、そして各事業の準備および出務する中で、医療用放射線の利用に関する問い合わせや相談の対話を通じて、診療放射線技師の府民に対しての公益性・社会性に関与する職務や診療放射線技師の職名および職能の啓発に努めました。

また、各事業の当日の出務には日常業務が忙しい中、会員諸氏に協力をお願いしました。

◎令和元年・令和2年度 広報・渉外委員会構成委員2名

若畑旬弥（京都医療センター）、杉原哲雄（京都きづ川病院）

## ■各事業報告

### 【第55回京都病院学会】

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に池坊短期大学（四条烏丸）での開催を断念しWebを活用した学会を6月14日（日）～7月12日（日）の間公開することといたしました。本学会は昭和40年から始まり、京都府下の病院と関連施設の会員で構成される京都府病院協会と京都私立病院協会が主催し、京都府・京都市・京都府医師会・京都府歯科医師会の後援をいただき、すべての医療と介護に関連する職種・関係者の方々を参加対象として、地域に密着した手作りで運営する特色ある学会として毎年開催されています。

学会への準備・開催に向けて、実行委員会は学会の4ヶ月前の2月から始まり開催月の6月まで5回開催されました。実行委員会は第2回目以降からは新型コロナウイルス感染症を考慮し書類審議へと変更になりました。第3回の実行委員会にてWeb開催への変更が承認されました。初めてのWeb開催ということもあり、白紙状態からのスタートではありましたが、京都私立病院協会事務局の方々を中心としてアイデアを出し合いながら準備を進めました。また、今回の学会も昨年に引き続き、京都府の地域医療介護総合確保基金からの補助金により、各協会会員の医療施設の従事者と一般参加者の学会参加費を無料にすることができました。

本会は主催団体の一員として、4名の座長と10名の準備委員の選出を予定していましたが、Web開催移行に伴い就任依頼を見送ることとなりました。

演題発表においては、演者には、①音声のみ録音+スライドデータを作成、②PowerPointで音声付き画面操作動画を作成、③スライドデータのみを作成、この3種類の中から準備していただき事前に提出してもらうよう手配いたしました。総演題数は487題であり放射線部門の演題数は24演題となり、昨年より1演題の増加となりました。

今回の基調講演は厚生労働省事務次官 鈴木俊彦氏に「社会保障改革の展望と地域共生社会～

2040年を見据えて～」をお願いしました。また特別講演「リハビリテーション医学の今と未来」を藤田医科大学医学部 リハビリテーション医学 I 講座 主任教授 大高洋平氏をお願いしております。要望演題「地域包括ケアにおける病院の役割」と継続演題「働き方改革」はアンケートでも好評でありました。

今学会の参加者数は登録アカウント者数としています。医療関係者は1,348名、一般参加者は92名の合計1,440名（昨年度より964名減少）となりました。

### 【第47回くらしと健康展】

今年度も10月に京都府医師会館で予定されていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症を考慮した結果、中止を余儀なくされました。

### 【無資格者対策】

医療用放射線を用いた検査による被ばくについての不安や心配は一般の方々から数多くの質問を耳にします。一方で、乳がん検診におけるマンモグラフィー受検率の向上の啓発活動、「がん対策基本法」施行による《がんに対する高精度放射線治療の推進》などにより、行政による医療における放射線を利用する取り組みは以前より漸進してきています。また、CT/MRIの画像診断は医療だけにとどまらずAi診断の分野にも重用され、その社会的な有意義性も高くなっています。

法令改正による診療放射線技師業務の拡充と高度化により私達には、高い問題認識力と解決力を必要とされています。さらに診療用放射線に係る安全管理体制に関する規定が施行され、放射線に関する被ばく線量の管理も義務づけられることとなりました。専門の教育を受けてない無資格者が診療放射線技師業務を遂行することは不可能と考えます。

無資格者による医療用放射線の取り扱いは、コンプライアンス重視の法令遵守の社会的意義と診療放射線技師法違反の観点からも看過することのできないことです。

本会としても、機会のある度に関係諸団体、監督官庁に協力を要請しており、本年度も前年と同様に、令和3年2月1日付で京都府健康福祉部、京都市保健福祉局、京都府医師会、京都府歯科医師会、京都私立病院協会に対して『無資格者による診療放射線技師業務の防止に関する要望』書を部長名、局長名、会長名宛にて発刊し、提出をいたしました。

（要望書については別添付の参考資料を参照）

参考資料

京放技第 R2-000号

令和3年2月1日

京都府健康福祉部・京都市保健福祉局

京都府医師会・京都府歯科医師会・京都私立病院協会

×× 様

公益社団法人 京都府放射線技師会

会長 河本 勲則

### 「無資格者による診療放射線技師業務の防止に関する要望」

平素は、当会の公益性や社会性を伴う事業活動ならびに運営につきまして、格別のご指導と御高誼を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、標記の件につきましては貴職におかれましても既に御深慮のことと存じます。

当会は医療における診療放射線技師業務の《技術の進展と職能の資質向上》に日々邁進し、すべての診療放射線技師は医療用放射線技術の最新の知識と技能を取得し、日常業務において良質で診断価値の高い画像を臨床現場に提供すると共に、恒常的に公益性と社会性のある業務に携わりながら、社会に貢献していると確信しております。さらに、この一連の業務は国が制定する【診療放射線技師法】に定める国家免許の有資格による法定独占業務です。

しかし、新聞等で医道審議会における《無資格者による診療放射線技師法違反》の報道は法令遵守が重要視される社会情勢の中で、「無資格者による診療放射線技師業務」は完全なる法令違反であり、無資格者の本人とその者を使用する管理者にはその責任が必ず問われます。昨今、高度な医療用放射線機器の検査は、多量の有益な画像情報を提供しますが、①被ばく線量の低減 ②最適な撮影条件 ③確かな経験と知識を要する最良な画像処理技術 ④設備環境を整備・維持するための安全管理及び運営業務 ⑤最新の診療報酬改訂による画像管理に関する項目などは無資格者が対応することは甚だ不可能です。

令和2年4月1日に診療用放射線に係る安全管理体制に関する規定が施行されました。内容は①改正省令の求める責任者（医療放射線安全管理責任者）の配置②診療用放射線の安全利用のための指針の策定③放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全利用のための研修の実施④放射線診療を受ける者の被ばく線量の管理及び記録等が求められております。指針に従い医療放射線安全委員会の設立と指針の決定及び医療被ばく線量管理を行っております。また線量管理システムを活用することで、患者毎の個人被ばく線量の管理や同一撮影部位における被ばく線量を把握することができます。線量管理により診断に必要な画質を担保しつつ、必要最低限の被ばく線量で検査が可能となります。さらに新型コロナウイルス感染症 COVID-19 に関する感染症対策につきましては、自身の感染対策以外にも放射線機器にウイルスを付着させないような感染対策をしており、当会会員に浸透するべく情報を促し続けております。

法令改正による診療放射線技師業務の拡充と高度化により私達には、高い問題認識力と解決力を必要とされています。専門の教育を受けてない無資格者が診療放射線技師業務を遂行することは不可能です。その行為は医療の臨床現場及び一般社会への公益性や有意性を毀損すると言っても過言ではありません。当会は「無資格者による診療放射線技師業務」の違法行為を看過することはできません。

貴職にはご多忙のことと存じますが、上記の要望をご賢察のうえ、関連下の施設に対しまして【診療放射線技師法】の周知徹底と、法律を遵守して頂き、無資格者による診療放射線技師業務の根滅を期するため、更なる幾らかのご配慮を賜りたく本年も重ねてお願い申し上げます。

## 研修・研究事業

学術委員長 中川 政幸

令和2年度の研修事業は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、その開催を暫く見合わせていましたが、常任理事会、学術委員会において対応を検討し、今年度はWeb開催として対応しました。京放技がMicrosoft Teamsのユーザーになり、まず全地区委員会にて使用し、経験し、状況を把握した上で、学術イベントに導入する運びとなりました。結果、従来全地区委員会と同時間開催だったフレッシュャーズセミナーを別日に開催し、研修会を3回行うことができました。なお、従来研修会は開催回数を前面に出したタイトルを付けていましたが、今年度より、内容を把握しやすいように、内容に準じたタイトル、セミナーとして取り扱うこととしました。しかし、開催回数の把握も必要なため、従来の研修会名義はサブタイトルとして継続します。また、従来の会場集客型開催においては、非会員の対応を有料にて行っていました。Web開催においては差別化が困難なため、Web開催は会員に限定して開催しました。

事業報告に際し、京都府放射線技師会役員、並びに会員各位の多大なご協力に感謝の意を表します。学術事業の主な内容を以下に示します。

11月に日放技主催の、フレッシュャーズセミナーを開催しました。昨年度は4時間程度かけて行われたセミナーを、今回は約90分に凝縮し、4講座と河本会長による技師会の概要、入会についての説明が行われました。把握できた新人44名に案内を送付し、参加登録者27名中19名が参加、既入会者、講師陣を併せて36名の参加となりました。参加者の中には技師会未入会の方もおられるので、各自のカメラをOFFにし、チャットによる質問としたので、参加者の満足度はわかりかねますが、講師陣の努力により、充実した内容だったと感じています。

2月にCT・MRIセミナーを、2回開催しました。対応メーカーにご協力いただき、技術的トピックスやRSNAの報告などについて、約40分程度の講演を行っていただきました。非常に充実した内容で、技術革新、画質の向上、画像の比較などをWeb上で詳しく拝見することができました。なお、参加された方には後日アンケートを送付し、返信いただいた方には、資料を配布できる体制も初めて構築しました。

3月は脳神経外科セミナーとして、脳神経外科医による機能的脳神経外科と放射線診断について開催しました。てんかんに対する外科手術、パーキンソン病に対するDBSなど、あまり馴染みのない疾患の診断や、手術における放射線診断技術の活用が紹介されました。また、機能的診断に特化した内容でしたので、その検査原理、解析法、活用の実際も紹介され、教科書に掲載されていないことを拝聴できる、貴重な機会でもありました。

従来と異なる対応を行った今年度でしたが、令和3年度においても、更に有意義な学術イベントの開催を目指していきたいと考えています。会員の皆様のご理解ご協力を、よろしくお願いいたします。



## ■令和2年度委員構成

### 【両丹地区】

橋 岡 康 志 市立福知山市民病院

### 【市内担当】

中 川 政 幸 京都大学医学部附属病院

林 浩 二 洛和会京都健診センター

前 田 富美恵 京都市立病院

片 山 雅 人 洛和会音羽病院

四 丸 真 俊 宇多野病院

丸 山 久 喜 向日回生病院

加 藤 良 美 京都第一赤十字病院

### 【オブザーバー】

原 口 隆 志 関西医科大学香里病院

大 西 孝 志 姫路医療センター

後 藤 正 済生会京都府病院

## ■研修会場

会場開催は行わず、全て Microsoft Teams を用いた Web 開催とした

以下、研修会一覧と詳細を掲載します。

## ■令和2年度研修会開催一覧

<b>令和3年2月10日</b> <b>CT・MRI Web セミナー（第579回研修会 会員限定）</b>	<b>参加人数：70名</b>
「キヤノンメディカルシステムズ（株）最新技術情報提供」 キヤノンメディカルシステムズ株式会社 営業推進部 CT担当 小谷野智弘	
「GE MR 最新情報」 GEヘルスケア・ジャパン株式会社 MR営業推進部 寺嶋 健一	
<b>令和3年2月24日</b> <b>CT・MRI Web セミナー（第580回研修会 会員限定）</b>	<b>参加人数：67名</b>
「IQon スペクトラルCTの臨床的有用性」 フィリップスジャパン CTモダリティーセールススペシャリスト 小川 亮	
「SIEMENS MRI 最新技術のご紹介」 シーメンスヘルスケア株式会社 ダイアグノスティックイメージング事業本部 MR事業部 北野 真司	
<b>令和3年3月17日</b> <b>脳神経外科セミナー（第581回研修会 会員限定）</b>	<b>参加人数：53名</b>
「機能的脳神経外科と放射線診断」～てんかん外科と定位脳手術の実際～ 京都大学医学部附属病院 脳神経外科講師 菊池 隆幸	

## 日本診療放射線技師会主催

令和2年11月1日

フレッシューズセミナー

参加人数：36名

胸部基礎講座

済生会京都府病院 後藤 正

感染対策講座

宇多野病院 四丸 真俊

医療安全講座

洛和会音羽病院 片山 雅人

エチケットマナー講座

向日回生病院 丸山 久喜

# 編集事業

編集委員長 平井 靖

編集委員会は例年通り毎月の「京放技ニュース」と年度末に「令和2年度京都府放射線技師会雑誌」を発刊しました。

## ■編集委員会構成

村 上 雅 之	京都大学医学部附属病院
中 島 智 也	京都田辺中央病院
村 上 昭 彦	綾部市立病院
平 井 靖	三菱京都病院
オブザーバー	
久保田 裕 一	関西医科大学附属病院

## ■編集委員会：毎月2回京放技ニュース委員会

## ■発刊書籍

京放技ニュース

719号 (2020年4月号)	12ページ
720号 (2020年5月号)	4ページ
721号 (2020年6月号)	6ページ
722号 (2020年7月号)	2ページ
723号 (2020年8月号)	12ページ
724号 (2020年9月号)	8ページ
725号 (2020年10月号)	6ページ
726号 (2020年11月号)	4ページ
727号 (2020年12月号)	4ページ
728号 (2021年1月号)	6ページ
729号 (2021年2月号)	4ページ
730号 (2021年3月号)	6ページ
令和2年度京都府放射線技師会雑誌 (年報)	52ページ

# 厚生事業

厚生委員長 中川 稔章

令和2年度厚生事業活動の概況を報告致します。

上原委員、山添委員、塩貝委員、小笠原委員の4名とともに、京都府放射線技師会が推進している地区活動及び会員相互の親睦を目的に活動する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、全ての事業を中止せざるを得ませんでした。

## ■厚生委員会構成

上原 秀夫	京都大学医学部附属病院
山添 元士	京都第二赤十字病院
塩貝 光司	京都中部総合医療センター
小笠原 陵	関西医科大学附属病院
中川 稔章	京都府立医科大学附属病院

# 組織調査事業

組織調査委員長 蒲 順之

事業計画である、

- ①各学校及び会員施設へ京都府下の就職者紹介の調査
  - ②新入職者への入会案内
  - ③全地区委員会の企画・運営
  - ④地区委員会への参加
  - ⑤学遊会（厚生委員会と合同）の開催
- 以上の会務を報告します。

## ■担当委員

松 元 誠	松下記念病院
山 本 祐 造	京都第二赤十字病院
丸 山 久 喜	向日回生病院
鷹 野 潤 寛	京都第二赤十字病院
高 田 春 彦	松下記念病院
安 藤 公 人	京都第二赤十字病院
蒲 順 之	大島病院

## ■令和2年度活動年表（主なもの）

- 4月9日 新入職者紹介案内の発送・配信作業（蒲）
- 5月25日 組織調査委員会（新人への入会案内発送作業）
- 7月12日 組織調査委員会（メール会議）
- 7月27日 組織調査委員会（Web会議）
- 9月16日 組織調査委員会（新人への案内発送作業）
- 10月5日 組織調査委員会（Web会議）
- 10月18日 全地区委員会開催（46名出席）
- 10月13日 中地区委員会（蒲出席）
- 10月20日～ 全地区委員会事後アンケート
- 2月25日 組織調査委員会（メール会議）
- 3月16日 組織調査委員会（Web会議）

## ■診療放射線技師の新卒者紹介

府内就職実績のある学校及び近隣養成校あわせて15校及び京都府下会員施設に、就職された新卒者紹介の依頼を実施し、46名の紹介があり5月に入会案内及び“京放技の活動紹介”を発送。また9月にフレッシューズセミナーの案内を発送。

## ■全地区委員会

例年7月に開催していた全地区委員会ですが今年度は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、10月にWeb配信で実施。京放技として初めてのWeb配信事業となりました。内容は、任期初年度でもあるので京放技活動案内、JIRA 鍵谷昭典氏を講師に招き『2020年度診療報酬改定の概要～画像診断・検査・放射線治療を中心として～』と題して遠隔で講演いただきました。例年のように地区委員と理事との対面でのコミュニケーションがとれず残念ではありましたが、Web開催の礎を築けた意義のある会になったと思います。その後行いましたアンケートの内容・結果は下記参照ください。

## ■地区委員会、京放技学遊会

地区委員会の参加ですが、ほぼ開催されておらず参加することはできませんでした。次年度におきましては、積極的に地区委員会開催を促していきたいと思います。

京放技学遊会は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、中止となりました。次年度以降は状況を考慮したうえで交流をもてるようなイベントを開催していきたいと思いますので、参加のほど、お願いします。

## ■全地区委員会アンケート結果

Q1, 今年度の全地区委員会に参加（視聴）しましたか

はい：86.4% いいえ：13.6%

Q2, Q1で「いいえ」の方は、理由をお答えください

仕事、用事、接続できなかった

Q3, Q1で「はい」の方、参加（視聴）したデバイスは何を使用しましたか

表1参照

Q4, 通信手段を教えてください

表2参照

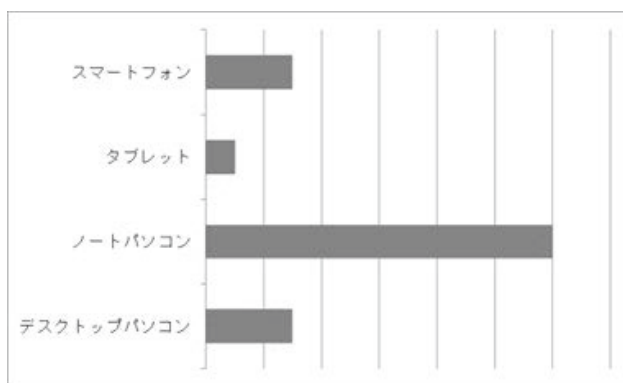


表1

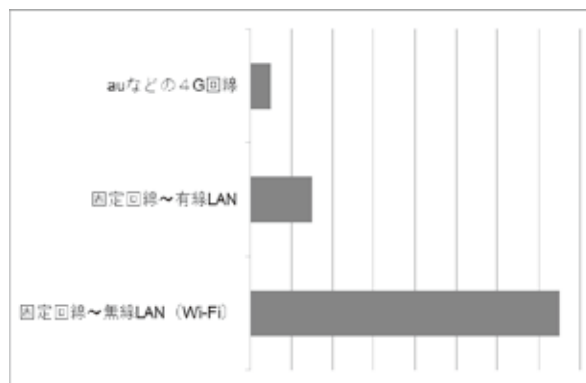


表2

Q5, 参加（視聴）していて、ブロックノイズ等の現象がありましたか

はい：15.8% いいえ：84.2%

Q6, 参加（視聴）していて、音声と映像に時差が生じていることがありましたか

無かった：63.2% 少しあった：26.3% 多々あった：0% わからなかった：10.5%

Q 7, Microsoft teams の使用感は、如何でしたか

まあまあ：57.9% 問題なし：36.8% 難しい：5.3%

Q 8, Web 会議ツールで Microsoft teams 以外に使用したことがあるものを教えてください

Zoom：72.7% Skype：27.3% GoogleMeet：22.7%

Q 9, 会議の時間は如何でしたか

適切：84.2% 長い：15.8%

Q10, 会議の内容は、如何でしたか

良かった：36.8% 普通：63.2% 悪かった：0%

# 情報事業

情報委員長 大西 孝志

情報事業は、例年通り主にインターネットを用いて府民、会員の皆様に京都府放射線技師会の活動や医療放射線に関する記事、資料をご覧いただけるようホームページを企画、運営を行って参りました。今年度は、新型コロナウイルス感染症により Web での研修会や会議を余儀なくされ、Microsoft teams を導入し管理運営を行いました。

前年度に引き続き、毎月発行する「京放技ニュース」や日本診療放射線技師会からの連絡事項及び他団体からのお知らせ等を迅速にホームページに掲載致しました。

ホームページの一新も理事会に提案しましたが、Web での研修会や会議の導入と管理運営を優先した為に、保留とさせて頂いています。

引き続き、ホームページの一新を含め、情報委員と共に歩んでいきたいと思っておりますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

下記のホームページアドレスへアクセスして頂ければ、京都府放射線技師会のホームページが閲覧できます。委員会と理事会で共同し、皆様に寄り添ったより良いホームページを目指しておりますので、率直で忌憚のないご意見やご要望等も下記のメールアドレスへ送信して頂ければ幸いです。

京都府放射線技師会ホームページアドレス

<http://www.kyohogi.jp>

ご意見やご要望等の問い合わせメールアドレス

[kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp](mailto:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp)



## ■令和2年度 情報委員会構成

大 西 孝 志	姫路医療センター
中 田 博 之	三菱京都病院
若 畑 旬 弥	京都医療センター
長 野 祐 馬	関西医科大学附属病院
松 本 洋 一	大阪医科大学附属病院



# 管理士事業

管理士委員長 山根 稔教

令和2年度の管理士会活動に関しては Covid-19 の影響で多くの関係機関で中止や延期になることがありました。その中で感染防止対策を取りながら活動した内容を報告します。

9月には京都医療科学大学に協力頂いて、例年行っている線量計校正の講習会を手指消毒、マスク着用の義務付けのもと密を避けて予約時間制にて開催しました。今回は12施設から25名の参加があり23台の線量計校正を行いました。線量計校正の意義は、各々の線量計の測定値にはばらつきがあり、その線量計の示す値が真の値とどれくらい違いがあるかを知り、校正を行って初めて真の値を知ることです。この講習会では、診断領域のエネルギーでの校正で、校正場には国家標準と同じく高精度の線量計校正用 X 線装置である TAITAN225S の装置を使用して行いました。

11月には京都府原子力総合防災訓練が福知山市三段池公園で開催され活動してきました。この原子力総合防災訓練は、京都府が行う大規模な訓練で事前に3回の会議が行われ参加してきました。今回の訓練では Covid-19 の影響で実際の避難住民は参加されず市町の職員の方が避難住民となり行われました。また新型インフルエンザ対応も加えられ感染疑いのないブースと感染疑いのあるブースに分けての対応となりました。訓練では当会は感染疑いのないブースでの訓練担当となり、サーベイメータを使用した汚染確認サーベイ、簡易除染などを任せられ、6名の隊員で対応してきました。今回も関西広域連合から推薦の兵庫県放射線技師会の2名が参加されており意見交換や情報交流もかねて訓練活動をしてきました。

以上、一年を通した管理士会活動報告でした。管理士会に限定されているものではありませんが、京都府放射線技師会として関わる災害訓練や医療放射線の市民相談などで公益性をもった活動ができる場合があります。今後もこの特性を生かして活動していきたいと考えています。

## 【管理士委員会構成】

安 藤 博 敏	
大 澤 啓 二	(済生会京都府病院)
田 中 亮	(亀岡シミズ病院)
三 森 隼 人	(京都中部総合医療センター)
山 根 稔 教	(京都中部総合医療センター)
久保田 裕 一	(関西医科大学附属病院) 副会長 管理士委員会担当

## 【令和2年度 管理士会活動記録】

9月6日	線量計校正とサーベイ講習会開催	25名参加	(南丹市 京都医療科学大学)
10月13日	第2回京都府原子力総合防災訓練会議		(福知山市)
11月16日	第3回京都府原子力総合防災訓練会議		(福知山市)
11月29日	京都府原子力総合防災訓練	6名参加	(福知山市)
2月5日	第4回京都府原子力総合防災訓練会議		(京都府庁)

# 受賞者選考委員会

受賞者選考委員会 河本 勲則

令和2年度も関連団体（京都府、京都市）表彰への推薦準備をしていましたが、コロナ禍で通年のような推薦募集もなく申請できませんでした。

今年度の日放技勤続50年、30年表彰の推薦申請を致しましたところ、50年勤続表彰者1名、30年勤続表彰者11名が承認されています。

## 令和2年度受賞者

\*令和2年度50年勤続表彰 1名

西谷 源典

\*令和2年度30年勤続表彰 12名

山 添 三知生	京都府立医科大学附属北部医療センター
岡 本 繁	京都第二赤十字病院
川 北 欣 弘	舞鶴医療センター
中 澤 修	京都中部総合医療センター
宮 井 明	京都市立病院
尾 関 裕 彦	京都市立病院
遠 山 景 子	京都医療科学大学
安 藤 公 人	京都第二赤十字病院
菊 元 力 也	洛和会音羽病院
岩 崎 和 幸	十条武田リハビリテーション病院
坂 下 博 昭	京都通信病院
梶 本 光 則	関西医科大学附属病院

受賞者選考委員会では、国や地方自治体と関係諸団体から表彰（個人、団体）の推薦依頼に積極的に候補者の選出をしています。また、毎年、日本診療放射線技師会勤続50、30年表彰の推薦を行います。申請には履歴書等、所定の提出書類がありますので、対象者に郵送されました時には、速やかに返送をお願いします。

受賞者選考委員会

河本 勲則 京都第二赤十字病院

久保田裕一 関西医科大学附属病院

原口 隆志 関西医科大学香里病院

後藤 正 済生会京都府病院

相談役（監事）

轟 英彦 京都府立医科大学附属病院

武部 義行 京都府立医科大学附属病院

## 地区活動

### 北地区

北地区理事 安藤 公人

任期一年目が過ぎようとしていますが、なかなか思うように活動できない年となりました。コロナ終息にはまだまだ時間がかかりそうな状況ですが、あと一年微力ではありますが、お役に立てるよう頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひ致します。

#### 【令和2年度 北地区活動年表】

令和2年

10月9日 第1回北地区委員会開催（大型台風接近にて急遽メール会議に変更）5名出席

10月18日 全地区委員会（Web参加）

令和3年

2月10日 第579回研修会（第1回CT・MRI Webセミナー）参加

2月24日 第580回研修会（第2回CT・MRI Webセミナー）参加

### 中地区

中地区理事 尾関 裕彦

今年度より中地区の理事を務めさせて頂いております。今回の中地区理事は予期せず就任する経緯となりましたため、準備不足を感じながらも行ってきました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策に追われ地区委員会を開催出来なかった事を申し訳なく思っています。その中、中地区の皆様へ情報提供を充実させるために連絡網の整備に着手することができました。現在も未完成ですが次年度もさらに進めて行きたいと考えております。また、地区理事と合わせて庶務委員も拝命しております。今年度は庶務理事にお任せする形となりましたが次年度は少しでもお力添えができるよう頑張っていきたいと思えます。

#### 【令和2年度 中地区活動年表】

令和2年

6月28日 第73回通常総会

10月18日 全地区委員会（Web開催） 4名参加

令和3年

2月10日 第579回研修会（Web開催）

2月24日 第580回研修会（Web開催）

3月17日 第581回研修会（Web開催）

前西地区理事様のご推薦をいただき、令和2年度初めて地区理事の任をお受けさせていただきました。前期2年間、西地区委員をいたしておりましたが、当然のことながら地区理事となりますと、業務の重大さ・多忙さを実感する1年でありました。

前任者様の労により、すでに各班の再編成、および地区委員の選出をしていただいております、まずは地区委員会の開催にてコミュニケーションを深める予定でありましたが、ご存知の通り新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせておりました。しかし、時間が経過しても一向に衰える気配がみられず、Webでの開催を模索いたしました。しかし、わたくしの知識の無さ、また日程の難航もあり、とうとう令和2年度は開催できずに終了してしまいました。大変申し訳ございませんでした。

地区理事の他に、京都府放射線技師会の委員会業務として財務委員をお受けいたしました。毎月開催される財務委員会にて、財務会計入力をお手伝いさせていただきました。財務委員長のもと手取り足取り指導していただき、会計業務などの経験がまったく無かった私にとってたいへん勉強になりました。

来年度は何より地区委員会の開催、また更に有意義な情報提供を行いたいと思っております。また財務委員会では少しでも委員長の手助けになるよう努力したいと思っております。

### 【令和2年度 西地区活動年表】

令和2年	
6月28日	第73回通常総会
10月18日	全地区委員会（Web） 5名参加
11月1日	フレッシュャーズセミナー（Web）
令和3年	
2月10日	第579回研修会（Web）
2月24日	第580回研修会（Web）
3月17日	第581回研修会（Web）

今年度より東地区理事を務めさせていただきます。この1年間で理事会には3度しか出席出来ず、地区委員会もコロナ禍で一度も開催出来ずに終わってしまいました。また地区理事と兼務で学術委員にも指名されましたが、何もお力になる事が出来ず申し訳なく思っております。まだまだ「WITH コロナ」がしばらく続きそうですが、この時代だからこそ出来ることを考えていきたいと思っております。

### 【令和2年度 東地区活動年表】

令和2年

10月18日 全地区委員会 (Web)  
令和3年  
2月10日 第579回研修会 (Web)  
2月24日 第580回研修会 (Web)  
3月17日 第581回研修会 (Web)

## 南 地 区

南地区理事 杉原 哲雄

地区理事を拝任し1年が経過しました。振り返ってみると新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年ではなかったでしょうか。そのような中、前任の地区理事より推薦され放射線技師会の役員を初めて務めさせて頂きましたが、私自身の知識不足、準備不足もあり地区委員会を開催することができず地区の皆様には申し訳ございませんでした。

令和3年4月には“電離放射線障害防止規則”が改正され会員の皆様におかれましても情報収集などご苦労されていると思います。京都放射線技師会から頂いたそのような有意義な情報をいち早く地区の皆様へ伝達できるよう地区委員会の開催を含め努めてまいります。

今後とも皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

### 【令和2年度 南地区活動年表】

令和2年  
10月18日 全地区委員会 (Web) 5名参加  
11月1日 フレッシュアップセミナー (Web)  
令和3年  
2月10日 第579回研修会 (Web)  
2月24日 第580回研修会 (Web)  
3月17日 第581回研修会 (Web)

## 西南部地区

西南部地区理事 松本 洋一

西南部の理事として4期目と1年が過ぎました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でした。令和2年1月にクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号の新型コロナウイルス感染症から始まり、3月には学校が休校になり、4月から第1回目の緊急事態宣言が発令されました。この1年で働き方が大きく変わり、職場に出勤しなくても自宅などからリモートで仕事をするという形態が大きく広まりました。ただし、私たち技師は業務の特性上リモートワークができないため、緊急事態宣言下でも通常通り出勤して勤務されていたことと思います。私たちを取り巻く環境下で大きく変わったものは研修会や勉強会ではないでしょうか。今までは開催日に会場に行って講演を聞くといった形式が当たり前とと思っていましたが、コロナ禍においてはZOOMを代表とするビデオチャット形式による講習会や期間を限定した動画閲覧形式による講

習会へと大きく変わりました。

京都府放射線技師会では多くの行事が中止になり会員様向けサービスをほとんど提供することができない状態になっています。そんななか技師会では Microsoft Teams によるオンラインセミナーの開催が始まりました。まだご存知ない方もいらっしゃると思いますのでこの機会にご参加をよろしくお願ひします。

地区活動としては、地区委員と電子メールのやり取りで連絡を取り合い、定期的に地区委員会を開催していましたが、このコロナ禍で地区委員会を一度も開催することができず地区活動が停留している状態です。まだまだ集まって委員会を開ける状況ではありませんが、いろいろ試行錯誤して会員様や地区委員の方々と交流を図りたいと思っています。今後とも技師会活動にご理解とご協力を願ひいたします。

## 委員

西南部地区 松本洋一（理事）大阪医科大学附属病院

- 1 福井崇晃 大阪医科大学附属病院
- 2 梶本光則 関西医科大学附属病院
- 3 岩木慎治 枚方公済病院
- 4 山口恵亮 松下記念病院

## 両丹地区

両丹地区理事 村上昭彦

地区理事を引き受け1年間が経過しました。新型コロナウイルス感染症による制約のために十分な活動が行えず会員の皆様には迷惑を掛けています。ただこの状況下でも研修会の開催を地区委員と共に検討しましたが、感染状況の悪化で断念した経緯があります。ようやく3月にはWebで第1回両丹地区研修会を北京都MRI勉強会と共に開催できたことに安堵しています。来年度も技師会活動に対しましてご理解とご協力を願ひします。

## 【令和2年度 両丹区活動年表】

令和2年

- 6月26日 第1回地区委員会（今年度活動方針、夏季研修会中止など）
- 10月2日 第2回地区委員会（地区研修会開催に向けた情報収集）
- 10月18日 全地区委員会（Web開催）
- 12月24日 第3回地区委員会（Web開催）  
Webによる地区研修会（令和3年3月24日開催決定）

令和3年

- 3月19日 第3回地区委員会（Web開催）  
3月24日開催第1回両丹地区研修会のWebテスト含む
- 3月24日 第1回両丹地区研修会（Web開催） 参加者45名

## 令和2年度監査報告書

公益社団法人 京都府放射線技師会  
会 長 河 本 勲 則 殿

令和2年度における本法人の業務及び財務の執行状況に関し、公益社団法人京都府放射線技師会の定款17条に則し、上半期経過後の中間監査を令和2年10月31日（土）に、下半期経過後の期末監査を令和3年4月3日（土）に本会事務所において、会長・副会長・庶務・財務担当理事ならびに関係委員立ち会いのもと実施しましたので、次の通り報告いたします。

会務につきましては、毎月開催の理事会に出席して会長並びに各担当理事の事業執行に関する計画と報告及びそれに伴う審議を聴取し、更に議事録その他の関係書類を閲覧しました結果、定款及び令和2年度事業計画に基づいて各事業とも概ね順調に執行され、会務報告の内容に誤りのない事を認めます。

財務につきましては、一般会計において新公益法人会計基準及び本公益法人の定款17条に則し、その会計処理規定に準拠し照合の結果、誤記不正なく会計伝票や帳簿類もよく整理されていた事を認めます。

今年度は、当初から新型コロナウイルスの影響で事業縮小を強いられる中、定例研修会などオンラインによる初めての事業展開を試みられ確実に実績を積みられました。又、理事会も密を避けながら工夫を凝らした会議を開催し成果を上げていると思います。

その他については、今年度も京都府原子力防災訓練に参加し、放射線防護や線量測定などの体験型講習を通じて放射線の基礎知識、原子力防災の知識などの広報活動を積極的に継続されることを望みます。新型コロナウイルスの影響で次年度も事業に制約があるかと思いますが、創意工夫をしながら最大限の努力をし、活動が元に戻った時に生かされるようお願い致します。

最後に成りましたが、本来の業務多忙にもかかわらず、本法人の目的達成のために尽力されています会長・副会長・理事並びに委員各位に対し、深く敬意と感謝の意を表し監査報告と致します。

令和3年4月3日

監 事

轟 英彦

監 事

武部 義行

## 令和2年度 常設委員会名簿

委員会	役名	氏名	勤務先
庶務委員会	委員長	後藤 正	済生会京都府病院
	委員	榎 隆之 吉田 久仁彦 四丸 真俊 服部 恵里香 尾関 裕彦	京都民医連中央病院 聖ヨゼフ医療福祉センター 宇多野病院 大阪医科大学附属病院 京都市立病院
財務委員会	委員長	渡里 弘	京都九条病院
	委員	河野 友宏 森吉 修 熊井 由昌	大阪プレストクリニック 京都桂病院 大阪医科大学附属病院
学術委員会	委員長	中川 政幸	京都大学医学部附属病院
	委員	林 浩二 前田 富美恵 四丸 真俊 丸山 久喜 片山 雅人 加藤 良美	洛和会京都健診センター 京都市立病院 宇多野病院 向日回生病院 洛和会音羽病院 京都第一赤十字病院
		両担当	橋岡 康志
編集委員会	委員長	平井 靖	三菱京都病院
	委員	村上 雅之 中島 智也 村上 昭彦	京都大学医学部附属病院 京都田辺中央病院 綾部市立病院
広報・渉外委員会	委員長	三浦 健一	京都岡本記念病院
	委員	杉原 哲雄 若畑 旬弥	京都きづ川病院 京都医療センター
組織調査委員会	委員長	蒲 順之	大島病院
	委員	松元 誠 山本 祐造 丸山 久喜 鷹野 潤寛 高田 春彦 安藤 公人	松下記念病院 京都第二赤十字病院 向日回生病院 京都第二赤十字病院 松下記念病院 京都第二赤十字病院
厚生委員会	委員長	中川 稔章	京都府立医科大学附属病院
	委員	上山 秀夫 山添 元士 塩貝 光司 小笠原 陵	京都大学医学部附属病院 京都第二赤十字病院 京都中部総合医療センター 関西医科大学附属病院
情報委員会	委員長	大西 孝志	姫路医療センター
	委員	中田 博之 若畑 旬弥 長野 祐馬 松本 洋一	三菱京都病院 京都医療センター 関西医科大学附属病院 大阪医科大学附属病院
管理士会	委員長	山根 稔教	京都中部総合医療センター
	委員	大澤 啓次 安藤 敏 田中 亮 三森 隼人	済生会京都府病院 衿正会 生駒病院 亀岡シミズ病院 京都中部総合医療センター

## 令和2年度 特別委員会名簿

委員会	役名	氏名	勤務先
受賞者選考委員会	委員長	河本 勲 則一	京都第二赤十字病院
	委員	久保田 裕隆 原口 隆志 後藤 正	関西医科大学附属病院 関西医科大学香里病院 済生会京都府病院



## 令和2年度 地区委員会名簿

班 名	氏 名	勤 務 先
北地区	安 藤 公 人 (理事)	京都第二赤十字病院
1	山 本 智 子	オリオン・ラドセーフメディカル (株)
2	松 下 義 和	西陣病院
3	田 中 謙 太 朗	京都府立医科大学附属病院
4	門 藤 祐 斗	京都第二赤十字病院
中地区	尾 関 裕 彦 (理事)	京都市立病院
1	幸 坂 育 歩	洛和会丸太町病院
2	國 分 武	京都通信病院
3	岩 本 正 明	京都南病院
4	山本 晃豊、岸本 怜美	京都市立病院
東地区	加 藤 良 美 (理事)	京都第一赤十字病院
1	山 本 太 郎	京都民医連あすかい病院
2	田 和 秀 信	吉川病院
3	武 田 涼 子	洛和会音羽病院
4	寺 崎 圭	京都大学医学部附属病院
5	井 俣 真 一 郎	京都第一赤十字病院
西地区	森 吉 修 (理事)	京都桂病院
1	榆 隆 之	京都民医連中央病院
2	森 吉 修 (兼任)	京都桂病院
3	瀬 戸 一 誠	三菱京都病院
4	中 西 義 正	済生会京都府病院
5	中 澤 修	京都中部総合医療センター
6	遠 山 景 子	京都医療科学大学
南地区	杉 原 哲 雄 (理事)	京都きづ川病院
1	若 畑 旬 弥	京都医療センター
2	福 井 健 太	医仁会武田総合病院
3	安 藤 利 樹	宇治徳洲会病院
4	竹 内 健 吾	京都岡本記念病院
5	原 田 良 祐	京都きづ川病院
両丹地区	村 上 昭 彦 (理事)	綾部市立病院
1	畑 中 秀 典	舞鶴赤十字病院
2	岡 崎 俊 平	京都府立医科大学附属北部医療センター
3	塩 見 彰 雄	綾部市立病院
西南部地区	松 本 洋 一 (理事)	大阪医科大学附属病院
1	福 井 崇 晃	大阪医科大学附属病院
2	梶 本 光 則	関西医科大学附属病院
3	岩 木 慎 治	枚方公済病院
4	山 口 恵 亮	松下記念病院

## 令和2年度 会長・副会長・理事体制

### 【三 役】

会 長	河 本 勲 則	京都第二赤十字病院
副会長	久保田 裕 一	関西医科大学附属病院（編集・組織・厚生・情報）
副会長	原 口 隆 志	関西医科大学香里病院（学術・広報・管理士）

### 【常務理事】

庶 務	後 藤 正	済生会京都府病院
財 務	渡 里 弘	京都九条病院
学 術	中 川 政 幸	京都大学医学部附属病院
学術（両丹）	橋 岡 康 志	市立福知山市民病院
編 集	平 井 靖	三菱京都病院
広報・渉外	三 浦 健 一	京都岡本記念病院
組織調査	蒲 順 之	大島病院
厚 生	中 川 稔 章	京都府立医科大学附属病院
情 報	大 西 孝 志	姫路医療センター
管理士	山 根 稔 教	京都中部総合医療センター

### 【地区理事】

北地区	安 藤 公 人	京都第二赤十字病院
中地区	尾 関 裕 彦	京都市立病院
東地区	加 藤 良 美	京都第一赤十字病院
西地区	森 吉 修	京都桂病院
南地区	杉 原 哲 雄	京都きづ川病院
両丹地区	村 上 昭 彦	綾部市立病院
西南部地区	松 本 洋 一	大阪医科大学附属病院

### 【監 事】

轟 英 彦	京都府立医科大学附属病院
武 部 義 行	京都府立医科大学附属病院

### 【名誉会員】

芦 田 暢 夫	自 宅
井ノ崎 光 彦	自 宅
四 井 猛 士	千春会病院
田 城 邦 幸	自 宅

# 同好会

## 野球同好会

監督	上原秀夫	京都大学医学部附属病院
主将	山添元士	京都第二赤十字病院
選手	西本岳	京都第二赤十字病院
	古田淳史	京都第二赤十字病院
	守口聖人	枚方公済病院
	棚田康友	京都府立医科大学附属病院
	北野琢也	舞鶴共済病院
	小笠原陵	関西医科大学附属病院
	矢部卓也	京都大学医学部附属病院
	大西孝志	姫路医療センター

## 烏鷺の会 (囲碁)

	金津武弘
	荒木信義
	小林徹
	江南伸治
	森江彰

## 久寿会

代表	四井猛士
世話役	田城邦幸
	久保昌博



眼を護る、礎となる。



ヘッドバンド

端部

検出部



素子

眼の水晶体用線量計

ドジリス

# DOSIRIS<sup>®</sup>

## ■ DOSIRIS装着例 (防護眼鏡PT-99AL使用時)

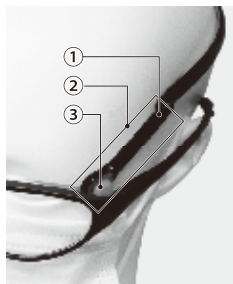
関節式アームを採用

① 装着後位置の微調整が可能

② 端部のみでの使用も可能

使用しているTLD素子は『LiF:Mg,Ti』

③ カプセル内に組み込まれています。



## ■ DOSIRISの3大特長

軽量 12g (単4電池と同等)

防護眼鏡の内側に装着可能

3mm線量当量を測定

■ お問い合わせ: 下記またはお近くの営業所にて承ります。

**TECHNOL**

CHIYODA TECHNOL CORPORATION

**IRSN**

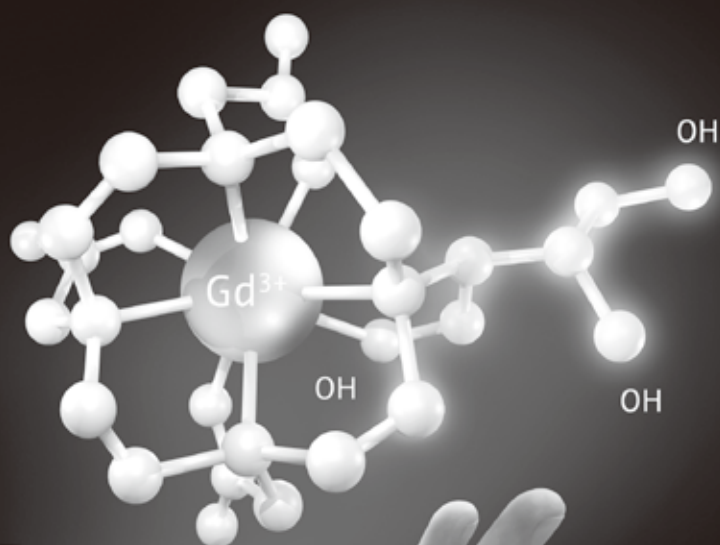
INSTITUT  
DE RADIOPROTECTION  
ET DE SÛRETÉ NUCLÉAIRE

株式会社 千代田テクノル

〒113-8681 東京都文京区湯島 1-7-12 千代田御茶の水ビル

E-mail: ctc-master@c-technol.co.jp

URL: <http://www.c-technol.co.jp>



Clear Direction. ➤ From Diagnosis to Care.

環状型非イオン性MRI用造影剤〈ガドフトラール注射液〉

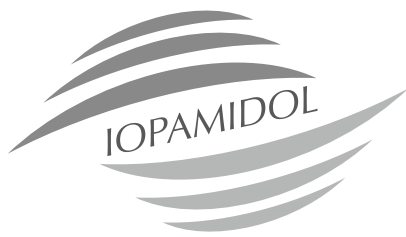
**ガドビスト<sup>®</sup>** 静注1.0mol/L 2mL  
シリンジ5mL/7.5mL/10mL

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること） 薬価基準収載

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌等を含む使用上の注意につきましては製品添付文書をご参照ください。

資料請求先  
バイエル薬品株式会社  
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001  
<http://byl.bayer.co.jp/>

PP-PF-RAD-JP-0772-25-11  
2020年10月作成



# イオパミドール注「F」

イオパミドール150注「F」  
50mL/200mL

イオパミドール300注「F」  
20mL/50mL/100mL

イオパミドール370注「F」  
20mL/50mL/100mL

イオパミドール300注シリンジ「F」  
50mL/80mL/100mL/150mL

イオパミドール370注シリンジ「F」  
50mL/65mL/80mL/100mL

非イオン性尿路・血管造影剤 イオパミドール注射液  
処方箋医薬品<sup>注)</sup> 薬価基準収載



## IOHEXOL

# イオヘキソール注「F」

イオヘキソール300注「F」  
20mL/50mL/100mL

イオヘキソール350注「F」  
20mL/50mL/100mL

イオヘキソール240注シリンジ「F」  
100mL

イオヘキソール300注シリンジ「F」  
50mL/80mL/100mL/110mL/125mL/150mL

イオヘキソール350注シリンジ「F」  
70mL/100mL

非イオン性造影剤 イオヘキソール注射液  
処方箋医薬品<sup>注)</sup> 薬価基準収載

注)：注意—医師等の処方箋により使用すること。

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照ください。

製造販売元  
(資料請求先)



**富士製薬工業株式会社**

〒939-3515 富山県富山市水橋辻ヶ堂1515番地  
<https://www.fujipharma.jp/>

# NEVER STOP

## AI画像解析で、 アルツハイマー病に立ち向かう。

記憶や思考能力が失われていくアルツハイマー病。  
そのメカニズムは、未だ完全には解明されておらず、治療薬の開発が待ち望まれている。  
私たちはこうした病に、AI技術による画像解析で挑んでいる。  
新しい治療法の開発に欠かせないのが、脳の変化を正しく捉えて分析すること。  
FUJIFILMのAI技術は、脳を100以上の部位に分解しその萎縮を可視化する。  
世界で初めてX線画像のデジタル化を実現したFUJIFILMは、  
患者のデータをより精緻に分析し、より早く正確な診断につなげるために、  
AI画像解析の可能性を、アルツハイマー病治療の領域でも探求し続けます。

**FUJIFILM**  
Value from Innovation





hvc  
human health care



## 患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。  
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。  
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、  
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。  
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。  
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。  
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

磁気共鳴診断装置

**MAGNETOM Altea with BioMatrix**

# Confidence to deliver

[www.siemens-healthineers.com/jp](http://www.siemens-healthineers.com/jp)



**SIEMENS**  
Healthineers

超電導磁石式全身用MR装置 MAGNETOM ソラ 認証番号: 230AABZX00114000



# トップ インジェクターチューブ クリア



- 三方活栓付は側注部にもネジ切りがあるため、より確実に安全な接続が可能です。
- ロック端子のみが回転するため、接続時もチューブのねじれを防止できます。
- 内容量1mLのプライミングキャップを採用し、液垂れを低減させることが出来ます。



ネジ切り

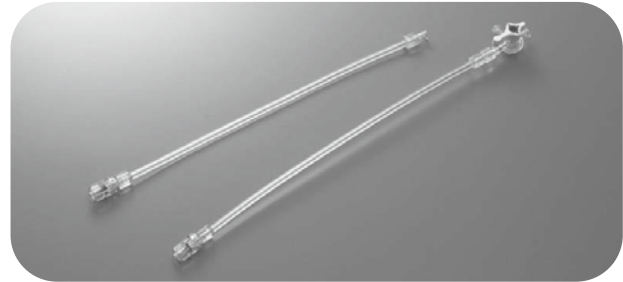


ロック端子



プライミング  
キャップ

- チューブは柔軟性が高く、容易に操作可能です。
- ローテータータイプは、接続・操作時もチューブがねじれることはありません。
- ローテーターVタイプは、薬液による変性・亀裂等の発生を防ぐため、耐薬品性を強化しました。



## トップ アンギオ用チューブ

●製品改良にともない予告なく仕様、外観などを変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。

製造販売業者 **株式会社トップ**  
 本社：〒120-0035 東京都足立区千住中居町19番10号  
<http://www.top-tokyo.co.jp/>

東京支店 ☎03-3811-9915 名古屋支店 ☎052-834-3333 大阪支店 ☎06-6361-5831 福岡支店 ☎092-472-4233  
 札幌営業所 ☎011-820-8383 盛岡営業所 ☎019-645-3452 仙台営業所 ☎022-265-3610 北関東営業所 ☎048-685-5797  
 千葉営業所 ☎043-214-1641 横浜営業所 ☎045-820-3330 新潟営業所 ☎025-244-2191 金沢営業所 ☎076-268-3370  
 静岡営業所 ☎054-263-0824 京都営業所 ☎075-643-6351 神戸営業所 ☎078-230-2360 高松営業所 ☎087-866-5691  
 広島営業所 ☎082-246-7651 鹿児島営業所 ☎099-214-7320

# ビジョンバツジ<sup>®</sup>

## 眼部被ばく線量測定

(眼の近傍の3mm線量当量を測定)

眼の水晶体の被ばく線量を適切な位置で正確に測定



### 1. 軽い

防護メガネに取り付けても重さを感じません

### 2. 小さい

視界の邪魔をしないような小さいサイズです

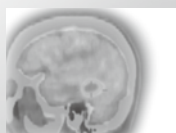
### 3. ちょうどいい

どのタイプの防護メガネにも取り付けられます

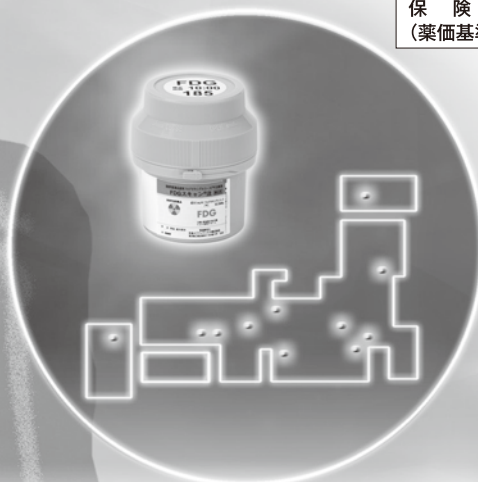
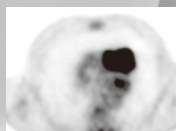
**長瀬ランドア株式会社**

本社 / 〒300-2686 茨城県つくば市諏訪C22街区1 TEL.029-839-3322  
 大阪営業所 / 〒550-8668 大阪市西区新町1丁目1番17号 TEL.06-6535-2675  
 ホームページアドレス / <https://www.nagase-landauer.co.jp>

保 険 適 用  
(薬価基準未収載)



FDG PET



放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬, 虚血性心疾患診断薬, てんかん診断薬

処方箋医薬品<sup>注)</sup>

# FDGスキャン<sup>®</sup> 注


放射性医薬品基準フルデオキシグルコース(<sup>18</sup>F)注射液

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

®：登録商標

資料請求先  
 日本メジフィックス株式会社  
〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

製品に関するお問い合わせ先  
 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで  
PET検査について紹介しています。

<https://www.nmp.co.jp>

2019年1月改訂

 Nemoto



ヴェールを脱いで、  
「知の領域」へ。

最先端の造影理論を内蔵した  
「考える注入装置」  
DUAL SHOT GX7

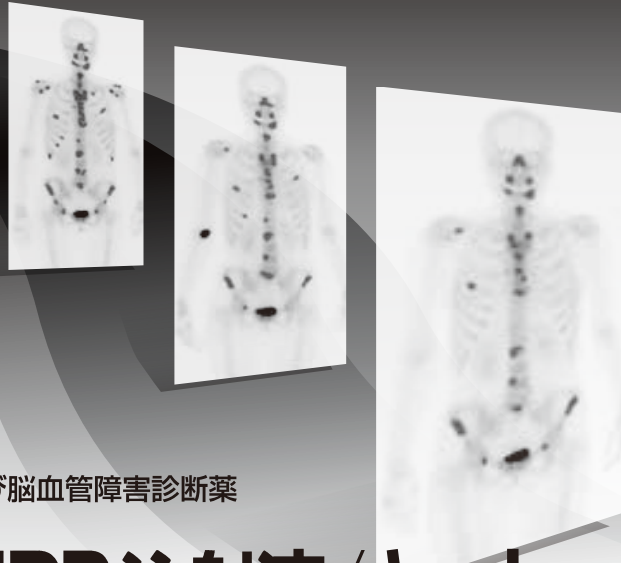
その注入装置が内蔵したのは、体重入力  
を重視した最新の造影理論と卓越のインター  
フェース。理論は、より正確な撮影タイミ  
ングを提供し、インターフェースは操作の負担  
を大きく軽減します。多彩な撮影スキルとより  
確実な操作性を両立したDUAL SHOT GX7。



DUAL SHOT GX7  
CT CONTRAST DELIVERY SYSTEM

株式会社 根本杏林堂  
東京都文京区本郷2-27-20 TEL.03-3818-3541  
<http://www.nemoto-do.co.jp>

**FUJIFILM**  
Value from Innovation



放射性医薬品／  
骨疾患診断薬・脳腫瘍及び脳血管障害診断薬  
処方箋医薬品<sup>注)</sup>

# テクネ<sup>®</sup> MDP 注射液/キット

放射性医薬品基準メチレンジホスホン酸テクネチウム(<sup>99m</sup>Tc)注射液/注射液 調製用 薬価基準収載

<sup>注)</sup>注意—医師等の処方箋により使用すること。  
※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」  
等については添付文書をご参照ください。

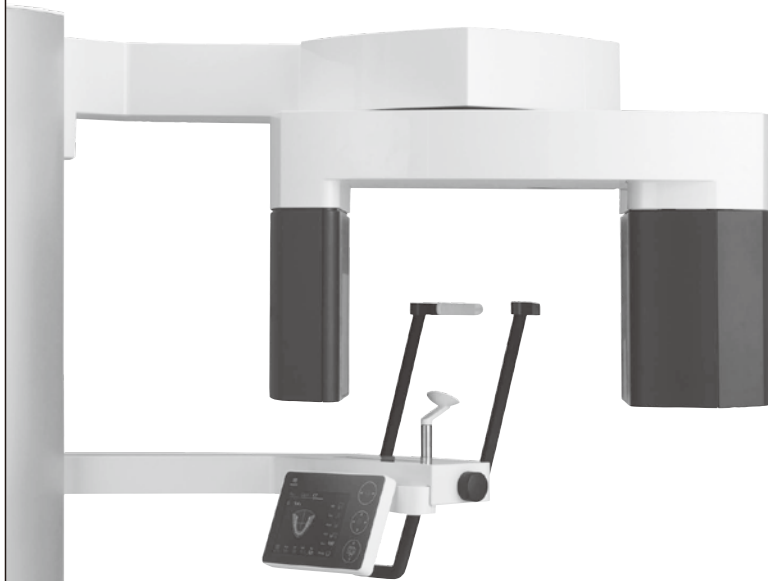
2018年10月作成

製造販売元

**富士フイルム 富山化学株式会社**

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビル TEL.03(5250)2620  
ホームページ：http://ffc.fujifilm.co.jp

Thinking ahead. Focused on life.



## Veraview X800

New Frontier of the X-ray

ベラビュー X800は、CT撮影に加えパノラマ/セファロ撮影を1台で可能にしたAll-in-oneタイプのX線診断装置。高解像度、ボクセルサイズ80μmのCT撮影を実現。CT撮影は、水平にX線を照射することで、アーチファクトの少ない画像を取得できます。さらに、高精細な360度CT撮影モードとハイスピードで低照射線量の180度CT撮影モードを搭載し、診断目的に合わせた撮影を行うことができます。

## Debut



発売 株式会社 **モリタ** 大阪本社：大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 T 06. 6380 2525 東京本社：東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03. 3834 6161  
お問合せ：お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800. 222 8020 (フリーコール) 製造販売：製造 株式会社 **モリタ製作所** 京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 T 075. 611 2141  
販売名：ベラビュー X800 標準価格：9,600,000円～(消費税別途) 2016年10月21日現在 一般的名称：デジタル式歯科用パノラマ・断層撮影X線診断装置  
機器の分類：管理医療機器(クラスⅡ) 特定保守管理医療機器 医療機器承認番号：228ACBZX00008000  
詳細な製品情報につきましては、こちらを参照ください。 [http://www.dental-plaza.com/article/veraview\\_x800](http://www.dental-plaza.com/article/veraview_x800)

# SAVING YOU TIME WHILE YOU SAVE LIVES.

That's Intelligently Efficient.

効率化で得た時間を、  
患者さんのさらなるケアに。

GEヘルスケアでは、テクノロジーは利用者と同じくインテリジェントに機能すべきだと考えています。  
医療従事者を、製品やデータ分析・ソフトウェアサービスを通して、予防から診断・治療、予後管理まで効率的にサポートします。  
インテリジェントな効率性で、患者さんのために最善を尽くします。  
詳しくはgehealthcare.co.jpをご覧ください。

JB01004JA



## 非イオン性造影剤

処方箋医薬品※ 薬価基準収載

日本薬局方 イオヘキソール注射液

# オムニパーク®

※ 注意—医師等の処方箋により使用すること



### ● シリンジ

240注 シリンジ 100mL (尿路・血管・CT用)  
300注 シリンジ 50mL (尿路・CT用)  
シリンジ 80mL・100mL (尿路・血管・CT用)  
シリンジ 110mL・125mL・150mL (CT用)  
350注 シリンジ 45mL・70mL・100mL (血管・CT用)

### ● バイアル

140注 50mL・220mL (血管用)  
240注 20mL・50mL・100mL (尿路・血管用)  
300注 20mL・50mL・100mL (尿路・血管用)  
150mL (血管用)  
350注 20mL・50mL (尿路・血管用)  
100mL (血管用)  
180注 10mL (脳槽・脊髄用)  
240注 10mL (脳槽・脊髄用)  
300注 10mL (脊髄用)

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌(原則禁忌を含む)および使用上の注意等の詳細につきましては、最新の添付文書をご参照ください。

Rev.1.01 2020/08 0E-1IMKT-KMI V1C12 JB80256XA  
2020年8月作成

製造販売元(製品情報お問い合わせ先)

GEヘルスケアファーマ株式会社 東京都港区赤坂5-2-20 TEL 0120-241-454

GEファーマ



# Creating The Future

挑戦を続け、共に未来を創る

増田医科器械は、先進のテクノロジーと  
熱いハートで、医療の現場や  
研究現場のお客様、そして患者様の  
お役に立つことが使命であり喜びです。



先鋒医療のバイオニアヘー。  
株式会社 **増田医科器械**

〒612-8443 京都市伏見区竹田藁屋町50  
Tel.075-623-7111 Fax.075-623-7131  
[www.masudaika.co.jp](http://www.masudaika.co.jp)

## 賛助会員一覧

令和3年3月31日現在 (五十音順)

エーザイ株式会社 京都コミュニケーション・オフィス	〒604-8153 京都市中京区烏丸通四条上ル笋町689 京都御幸ビル8F	TEL 0120-232-075 FAX 075-211-0904
カイゲンファーマ株式会社 大阪営業所	〒541-0045 大阪市中央区道修町二丁目5番14号	TEL 06-7167-8778 FAX 06-7167-8784
キャノンメディカルシステムズ株式会社 京都支店	〒600-8023 京都市下京区河原町通松原上ル2丁目 富永町338 京阪四条河原町ビル	TEL 075-354-9977 FAX 075-354-9955
キャノンライフケアソリューションズ株式会社 大阪支店	〒531-6106 大阪市北区大淀中1丁目1番30号 梅田スカイビル タワーウエスト6階	TEL 06-7167-1241 FAX 06-7167-1243
コニカミノルタジャパン株式会社 ヘルスケアカンパニー 京滋営業所	〒604-0835 京都市中京区御池通高倉西入高宮町200 千代田生命京都御池ビル5階	TEL 0570-011-203 FAX 0570-011-207
株式会社島津製作所 京都支店 医用機器営業部	〒604-8511 京都市中京区西ノ京徳大寺町1	TEL 075-823-1605 FAX 075-823-1608
島津メディカルシステムズ株式会社 京都営業所	〒604-8445 京都市中京区西ノ京徳大寺町1	TEL 075-801-3316 FAX 075-841-3334
シーメンスヘルスケア株式会社 京滋営業所	〒604-8171 京都市中京区烏丸通御池下ル虎屋町577-2 太陽生命御池ビル5F	TEL 075-757-6900 FAX 075-757-6902
株式会社千代田テクノル 大阪営業所	〒564-0063 吹田市江坂町2-1-43 KYUHO 江坂ビル	TEL 06-6369-1565 FAX 06-6368-2057
長瀬ランダウア株式会社 大阪営業所	〒550-8668 大阪市西区新町1-1-17	TEL 06-6535-2675 FAX 06-6541-0931
日本メジフィジックス株式会社 京都支店 京都営業所	〒136-0075 東京都江東区新砂3-4-10	TEL 0120-999-985 FAX 03-5634-5174
株式会社根本杏林堂 大阪営業所	〒550-0011 大阪市西区阿波座1-11-17 西本町有楽ビル9階	TEL 06-6532-6443 FAX 06-6532-7067
バイエル薬品株式会社 ラジオロジー事業部 関西営業所	〒604-8187 京都市中京区御池通東洞院西入ル笹屋町435 京都御池第一生命ビルディング6階	TEL 0120-106-398 FAX 06-6344-2212
株式会社フィリップス・ジャパン 関西ブロック 京都支店	〒612-8443 京都市伏見区竹田薬屋町40番地	TEL 0120-556-494 FAX 075-623-4233
富士製薬工業株式会社 営業部 関西支店	〒564-0051 吹田市豊津町9-1	TEL 06-6368-2860 FAX 06-6368-2867
伏見製薬株式会社 大阪営業所	〒533-0013 大阪市東淀川区豊里4丁目8-19	TEL 06-6160-2431 FAX 06-6160-2432
富士フィルム富山化学株式会社 西日本第一支店 京滋・北陸ブロック	〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1丁目13-41 SRビル江坂	TEL 06-7670-2800 FAX 06-6310-8433
富士フィルムヘルスケア株式会社 京都営業所	〒601-8132 京都市南区上鳥羽町60番地	TEL 050-3163-8215 FAX 075-662-1602
富士フィルムメディカル株式会社 京都営業所	〒601-8443 京都市南区西九条東御幸田町25-1	TEL 075-671-0264 FAX 075-671-0265
株式会社モリタ 京都支店	〒604-8075 京都市中京区麩屋町通三条下ル白壁町432	TEL 075-241-3131 FAX 075-223-0302
GEヘルスケア・ジャパン株式会社 京都支店	〒612-8414 京都市伏見区竹田段川原町236 竹田駅前第一ビル1階	TEL 075-644-1215 FAX 075-644-1220
GEヘルスケアファーマ株式会社	〒107-6113 東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル	TEL 0120-241-454 FAX 03-5544-3405

## 個人情報の保護について

公益社団法人 京都府放射線技師会は、会長以下役員・委員一同の個人情報についての適切な保護が非常に重要であると認識し、個人情報の保護に努めます。

1. 個人情報の収集に関しては、必要な範囲で個人情報を収集し、当技師会の会員間の情報交換への利用等に努めます。

また、会員本人からの個人情報の開示や修正・更新及び削除等適切な対応を行います。

2. 個人情報の管理に関しては、会員の意思を尊重し個人情報の紛失、破損、改ざん、漏洩等を防止するための適切な安全管理を講じ、予防に努めます。

(公社) 京都府放射線技師会

## 編集後記

この一年は全世界中が、新型コロナウイルス感染症一色でした。まだまだ先はいまだに見えませんが、春先の感染第一波後の緊急事態宣言、冬の第二波後の2回目の緊急事態宣言、ようやく春前に解除はされましたが、第三波を予想されている昨今、なんとか新型コロナウイルスワクチン接種が医療関係者から始まり順次高齢者接種へととなります。医療の頻拍度も減少する事なく、皆様におかれましても毎日の勤務のご苦勞を拝察いたしております。近い将来、あの時はしんどかったなと振り返れる日が1日でも早く来ることを望んでいます。

今年度途中より編集の仕事を担当させて頂き7ヶ月が過ぎ、今回初めて、雑誌編集に携わらせて頂きました。技師になり、放射線技師会に入会しはや30年が経過し、恥ずかしながら今回年報を最初から最後までくまなく何度も読ませて頂きました。初めてです。今までは、郵送してきた年報に興味のある箇所をさらさら読みしていただけでした。読むと技師会の活動や考え、方向性が見えてくるように思いました。皆様にも今回から読み込んで理解していただけると嬉しいです。

さて、今年度の京都府放射線技師会は予定していました研修会や行事がほぼ中止となりました。

しかし、年度後半からは、Webを活用した研修会を模索しながらも開催し、今後の方向性への改革の足掛かりとなりました。参加者も研修会の回を増すごとに増加傾向で、今のニーズにあったあり方を今後も検討を重ね、より充実したものとしていきたいと思えます。

今後、来年度も法改正が行われて診療放射線技師の業務範囲は広がり、職能団体である技師会の役割の重要性は今以上に増すと思えます。これからも会員のご理解とご協力をお願いいたします。

編集委員長 平井 靖





## 令和2年度 公益社団法人京都府放射線技師会雑誌

令和3年5月●日 発刊

発行者 河本 勲則

発行所 公益社団法人 京都府放射線技師会  
〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ 1F  
TEL & FAX : 075-802-0082  
E-mail : kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp

編集者 平井 靖・久保田 裕一・村上 雅之・中島 智也・村上 昭彦

印刷所 山代印刷株式会社  
京都市上京区寺之内通小川西入宝鏡院東町 588